

なぜ日米関係なのか

日米関係は、今でもアジア太平洋地域で重要かつ基本的な役割を果たし続けています。日米間のパートナーシップは経済成長の原動力であり、両国間の安全保障同盟は同地域における平和と安定を維持しています。革新性、弾力性といった共通の価値観をもとに築かれた現代の日米関係は、新しい協調分野を切り開きつつ、進化し続けています。

なぜ日系アメリカ人なのか

伝統、生き立ち、更に歴史を日本人と共有する日系アメリカ人は、日本との独特の繋がりを持っています。米日カウンシルは、この特別な絆に着目し、日米関係促進のための地元、地域、全米、ならびに国際レベルの活動に参加することを彼らに奨励します。日系アメリカ人リーダーは、日米の各界リーダーに専門知識やアドバイスを提供することによって、政策、事業上の判断や市民社会活動に影響を与えうる独特の立場にあります。米日カウンシルの各プログラムは、著名な日系アメリカ人有識者のみならず、次世代の日系アメリカ人リーダーにも参加を促します。

**TOMO
DACHI**

TOMODACHIイニシアチブ

TOMODACHIイニシアチブは、公益財団法人米日カウンシルージャパンと東京の米国大使館が主導する官民パートナーシップです。東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指します。

詳細は <http://usjapantomodachi.org/> をご参照下さい。



ジョン・ケリー米国国務長官

「[TOMODACHIイニシアチブ]は、日米の次世代リーダーに投資する画期的な官民パートナーシップです。私が出会った学生たちは活気に満ち、興味深い意見を聞かせてくれ、刺激的でした。みな好奇心にあふれ、私たちの共通の未来に関心を抱き、そしてグローバルな課題に取り組んでいました。」



米日カウンシルは、個人や団体の寄贈者の支援を受ける
501(c)3 非営利非課税組織です。
個人、組織、企業ならびに財団法人の皆様による
年間あるいはプログラム毎のご支援に感謝いたします。

ホームページ

www.usjapancouncil.org

メール

contact@usjapancouncil.org

ソーシャルメディア

-  facebook.com/usjapancouncil
-  @USJC | #JpnAms
-  linkedin.com/company/the-u.s.-japan-council
-  flickr.com/photos/USJC/
-  youtube.com/user/USJapanCouncil

ワシントンDC本部

1819 L Street NW Suite 200
Washington, DC 20036
TEL (+1)(202) 223 6840
FAX (+1)(202) 280 1235

ロサンゼルス事務所

2207 Colby Avenue
Los Angeles, CA 90064
TEL (+1)(310) 500 2873
FAX (+1)(310) 526 6519

東京事務所

〒107-6113 東京都港区赤坂5-2-20
赤坂パークビル13階
TEL (03) 5544 4515
FAX (03) 5544 4518



佐々江賢一郎駐米日本大使

「日米間の友情はすでに非常に強いものです。私たちは、両国の絆を深める新しい考えや革新的な思考を歓迎します。米日カウンシルはこういった奉仕活動の最前線を常に担ってきました。日米関係の前途に期待しています。」



概要

米日カウンシルは、日米関係の強化に貢献すべく、太平洋両岸の多様なリーダーを結集し、ステークホルダーとの交流の場を提供すると共に、コミュニティと財政界にとって有益な課題に取り組む、教育的非営利団体です。米日カウンシルは、国際的なネットワークを育み、様々な組織や団体の協力のもとプログラムを展開し、メンバーが日米の当該パートナーと触れ合う場を設けます。米日カウンシルは2009年に設立され、ワシントンDCに本部を置き、カリフォルニアと東京にスタッフを置いています。

2012年には、TOMODACHIイニシアチブを支援するため、米日カウンシルージャパンが設立されました。2013年には公益財団法人に認定された米日カウンシルージャパンは、東京を本部としています。

使命

米日カウンシルは、日系アメリカ人のリーダーシップのもと、グローバルな視野で日米関係の強化に専念する組織です。米日カウンシルは、ネットワーキングやリーダーシップの革新的なプログラムを通じ、人と人との交流において、あらゆる世代の日本人とアメリカ人を活気付け、積極的な活動を奨励する役割を果たします。また、活気溢れるダイナミックな日米関係の構築に貢献できる次世代のリーダーを育成します。

ビジョン

米日カウンシルは、日米関係に取り組むリーダーの多様性により強化された、活力溢れるダイナミックな日米関係を構築すること、ならびに両国とアジア太平洋地域にとって有益となる、前向き且つ効果的な協調を促進することを目指します。

岸田文雄外務大臣

「日本人と日系アメリカ人の間にネットワークを築くと同時に、若く才能にあふれた未来の世代を育成する米日カウンシルの尽力は、日米同盟の強化に大きく貢献するという意味でかけがえのないものです。」

プログラム

米日カウンシルとそのメンバーは、様々な会合やシンポジウム、そして日系アメリカ人、日本人ならびにアメリカ人のリーダーとの間に存在するビジネスと政界のネットワークを通じた情報交換を促進します。



アニュアル・カンファレンス

アニュアル・カンファレンスは、毎年秋に開催される、一般公開の革新的なイベントです。有識者や日米関係に携わる人々が集い、最先端のトピックを選択し、日米の将来の発展と協力を促進する機会を提供します。

在米日系人リーダー訪日プログラム

在米日系人リーダー（JALD）訪日プログラムは、全米各地から選出された日系アメリカンリーダーが訪日し、日本の実業界、政府、学术界、非営利や文化セクターのリーダーと交流するプログラムです。2000年に始まった同プログラムは、外務省が主催し、米日カウンシルがプログラムの計画と運営を行います。



TOMODACHI新生リーダープログラム

米日カウンシルの新生リーダープログラム（ELP）は、自らの専門分野において先駆者、革新者や起業家として活躍できるよう、次世代のリーダーを支える対話型教育プログラムです。毎年全米から数名の若手日系アメリカ人有識者を選ばれ、米日カウンシルのアニュアル・カンファレンスとメンバーズ・ミーティングに参加します。



ポール・テラサキ博士

「社会において日系アメリカ人は重要な立場にいます。彼らは、次世代の日系アメリカ人が日本の伝統を誇りに思い、日米両国が強固なパートナーとしての関係を維持することを確実にするため、若い日系アメリカ人に自らの文化や経験を伝えてゆくことができます。」



ガバナーズ・サークル

ガバナーズ・サークルは、日本の県の企業をアメリカ西海岸のビジネス・パートナーとつなげる、包括的な場を提供します。日本の県とアメリカの州は、革新的な技術、試験的なプロジェクトや最新鋭の製品を、合併や戦略的パートナーシップなど様々な形の協力を通じて互いに提供します。この経済協力は研究開発の相乗作用や教育交流を促進し、アジア太平洋沿岸の互恵関係を更に深めます。

議会・ビジネス界のネットワーキング

米日カウンシルは、議員交流イニシアチブを通じて、日米の議員間の会話と交流を州・地方・国家レベルで促進します。また、米日カウンシルは、日本人と日系アメリカ人の企業幹部が一同に会し、長期にわたる互恵的な関係を地方・国家・国際レベルで醸成する機会を提供します。

地域プログラムとイベント

米日カウンシルは、シンポジウム、共同政策イベント、政府レベルや有識者レベルでの意見交換、ネットワーキング・イベントを含むプログラムを各地で行います。地域プログラムは、既存の絆を強化すること、そして、高速鉄道、クリーン・テクノロジー、教育交流、女性のリーダーシップなど特定分野での協力についての会話を促進する、新しい関係を築き上げることを目指します。